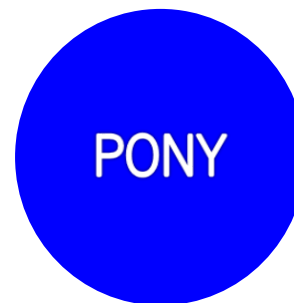




SUPER PONY ACTION

~ PART II ~

一般社団法人日本ポニーベースボール協会
(JAPAN PONY Baseball Association)



【投球数制限について】

- ・ コロナ禍による活動自粛期間を経て、6月1日より活動を再開。
- ・ 一定の練習期間、並びに全ての成人関係者に対してPCR付抗体検査を実施・陰性確認が取れた後7月度より各地区に於いて全日本選手権大会予選を開始。
- ・ 以降、本年度全ての大会で投球数制限を運用してきたが
 - ・ 特に大きな混乱もなく円滑に導入された。
 - ・ コロナ禍より肩・肘の集団検診の実施が不可能であったことから、主要大会を終えた5チームをサンプルとした肩・肘検診を実施したところ、殆どの選手が学童期に発症した肩・肘の故障に回復傾向が見られた。
 - ・ 加えて、サンプルとして検診したチームからは肩・肘の故障発症者は、例年より著しく低下した。
- ・ 当協会としては、これまで通りの投球数制限を来年度以降も実施する。
- ・ また、投球数制限導入効果を更に検証するために、来年度も5月にポニーフェスタ(肩・肘検診等)を開催する予定

【国際標準バットの導入について】

- ・ 飛ばないことに注目されているが、しっかりとしたスイングで芯を捉えた打球は、通常のバット相当の飛距離を生み出している。
- ・ また、芯を外した内野ゴロは威力が無く前に出て捕球しないとアウトが取れないことから、当該バット導入により守備の基本を学ぶべき中学1年生期世代の選手には、守備力向上の面でも好結果が得られた。

来期以降も、中学1年生期の選手に対しては国際標準バットの使用を義務付けることとする。

【イエローカードの導入について】

- ・ 本年度を通じて、全ての大会役員・責任審判員がイエローカードを持参して公式戦の運営にあたった。
- ・ イエローカードは本年度3度出された。その全ては保護者の応援マナー(コロナ禍での声援自粛違反)に対するものであった。
- ・ イエローカード制の導入は、指導者が自身の言動に対する注意意識を醸成する好結果をもたらした。

来年度以降も、引き続き現在の運用を継続する。

【喫煙場所の確立について】

- ・ 受動喫煙防止対策、青少年の健全育成対策として、喫煙場所の確立をテーマとして取り組んだが厳格運用には程遠い実態であった。
- ・ この課題に対しては、更に踏み込んだ明確な基準作りが必要であると痛感致しました。

上記の通り、SUPER PONY ACTION ~ PART I ~ は、「怪我は予防できる」という点で予想よりも多くの効果が出ていることから、現在の諸施策を次年度以降も継続する。

一方で、マナーとして整理されるべき「喫煙問題」については、大いなる反省が必要であることからより具体的・明確な基準を制定することとする。

協会・連盟主催事業時の禁煙化について

協会・連盟が主催・共催する大会開催会場敷地内於いては、完全禁煙を指向する。

但し、施設外での喫煙マナーの悪化が見込まれるため喫煙場所を設けることとするが

「吸わせない・見せない・臭わせない・感じさせない」運動の積極的な展開する。

具体的には、子供達に「受動喫煙させないように、煙草を吸う姿を見せないように

煙草の匂いを嗅がせないように、煙草を吸いに行くと感じられないよう」

取り組むこととする。

各球場に於いて、この措置を講ずるための資金は協会より拠出することとする。

Protect Our Nation's Youth

(国の宝である青少年の成長を守る)

SUPER PONY ACTION PART 2

～第2弾～

**社会に有益な人材を育成するための
大いなるチャレンジングマインドの醸成
(夢のある野球を利用した 野球少年の成長を守る取り組み)**



- PONY's 1st President
- Joe E. Brown



Mission Statement:
PONYの野球とソフトボールは
「私たちの国の宝である若者の成長を守る」
ように設計されています

「男の子と女の子がルールに従うことを学ぶならば、それから彼らは規則に従って生きることを学ぶでしょう」

- PONY初代会長 Joe E. Brown

Super Pony Action Philosophy

欧米よりスタートしたベースボールとは、楽しく、夢のあるスポーツであった。

青少年期は、形に拘ることなく、単にプロ野球選手になりたいと思う心だけで、個々人の思うがままにチャレンジし、プレーしたものであった。

いつの日か、野球は厳しく、様々な練習を必要とし、多くの事柄を管理されるスポーツとなってしまっている。これは、現代の野球が、勝つための管理野球、勝つための個々の責任の完璧な遂行期待から生じた副作用ではないか？

「青少年の成長を守る」とは、野球を通じて子供達が夢を持ち、形に拘ることなく自身の無限の可能性を信じチャレンジする気持ち、野球に夢中になれる期間を創出することが、青少年を対象としたスポーツ団体である我々の役割であると信じる。

Protect Our Nation's Youth

(国の宝である青少年の成長を守る)

SUPER PONY ACTION PART 2

～主な取り組み～

1. 保護者負担軽減のための諸施策について
2. コロナ禍の中、より一層深刻さを増すであろう日本経済の悪化から、野球少年・野球少女を守るための
大倉グループ プレゼンツ「ポニーファミリー サプライ用品助成制度」の導入
3. 各種給付型奨学金の導入について
 - 1) PONYの最大の強みである世界のネットワークを活用した積極的な留学制度等（国際交流）の実現
 - 2) プロ野球選手になりたい！海外で勝負したい！という子どもたちの夢を応援する給付型奨学金制度の導入
4. 安心して野球に夢中になる環境を支え、子供達の成長を守り遂げるための直接的就職支援をする業務提携
5. PONY育成理念を学童世代にも浸透させることを目的とし少年軟式野球国際交流会（IBA-boys）事業を継承

Protect Our Nation's Youth
(国の宝である青少年の成長を守る)

保護者負担の軽減策の実行について

野球離れの主要因として「保護者負担」がキーワードとして取り上げられているが他スポーツと比し否定できない点が多く存在すると考えられる。
また、それらが多くのチームの活動の障壁となっていることから以下の施策を実施する。

1. 地方大会の準々決勝以下、全国大会の2回戦以下の試合に於いては
 - ・ 審判二人制を採用する。
(2021年度は1年生の大会で運用。再来季以降、上級生の大会での導入是非を判断する。)
 - ・ アナウンスを廃止する。
2. 審判二人制下に於いても、一定程度の登録審判員（父兄審判員）の出場要請を発生するが、対応出来ないチームについては、一定額の費用を支払うことにより代行要請が出来るシステムとする。
3. 練習試合時等にも活用できるように、選手向け審判講習会を開催する。
審判講習会はポニーフェスタ（5 / 13開催の肩・肘検診）開催時に同時開催する。

Protect Our Nation's Youth

(国の宝である青少年の成長を守る)

大倉グループ プレゼンツ「ポニーファミリー サプライ用品給付制度」

【制度概要】

毎年度、2月末日までに下記対象者である証明書を提出した選手に対して大倉様による野球用品給付支援を行う。

【対象者】

次の何れかに当て嵌まる者を対象とする。

- ・ 世帯収入が400万円以下の者
(独立行政法人 日本学生支援機構の給付奨学金制度に定める家計基準を参考)
- ・ 障害等級1級、又は要介護者が同一世帯に居住する者

【支援内容】

- ① 株式会社大倉様よりSSK野球用品引換券を贈呈。(専用の申込書を用意し選択)
- ② 日本代表に選ばれた際には、ユニフォーム等の購入品を贈呈。

社会に有益な人材を輩出

「給付型奨学金制度」の設立

「子どもたちの夢を最大限にフォローアップするポニー独自の奨学金制度を新たに導入。これからの国際化に適応した人材を育成すべく、海外に挑戦する『チャレンジングマインド』を持つ子どもたちの夢をポニーが応援。選考にあたっては、文武両道をベースとした正当な審査基準を設定する。

制度概要（初年度 総額予算 360万円）

- 本場アメリカでMLB球団・独立リーグにチャレンジする選手への支援制度として「夢 果てるまで 給付型奨学金」を新設。
期間を定めて、毎年一定額を給付し支援する。（毎年2名まで。年間60万円/人給付）
- 国内においても、独立リーグやクラブチームで夢を追いかけ、生活基盤を整えることが困難な選手への支援制度として「目指せ NPB 給付型奨学金」を新設。
期間を定めて、毎年一定額を給付し支援する。（毎年2名まで。年間60万円/人給付）
- ポニーが持つ世界のネットワークを活用した海外留学プランを実現。
中学、高校、大学と、どの年代からでも海外へ挑戦する文武両道型の海外留学支援制度として「韓 俊 グローバル人材育成 給付型奨学金」を新設。（毎年2名まで。年間60万円/人給付）



Protect Our Nation's Youth

(国の宝である青少年の成長を守る)

社会に有益な人材を輩出

「直接的就職支援」

「安心して野球に夢中になれる環境を創り出し、選手、子どもたちの成長を守り遂げるため、ポニーでは、子どもたちの夢を最大限にフォローアップすべく、育成メソッド卒業ポイントに就職支援を置きます。

- 野球を続けたものの、プロ野球選手になれなかったら
- 将来のことが不安で野球が続けられない…
- 就職を考えると、野球留学等を決断できない…
- 経済的に夢を追いかける時間が限られてしまう…

将来への不安を軽減
＜カウンセリングを重視＞

ポニーが解決
↓
就職支援



講習会等ではなく、実際に就職先をご紹介します

Protect Our Nation's Youth
(国の宝である青少年の成長を守る)

学童から23歳（サラブレッド）までの年代を対象としたPONY独自の育成メソッドの制定

PONY育成メソッドの制定と関係各位との協業



【事業承継】



業務提携

少年軟式野球国際交流協会
理事長 古葉 竹織
設立 1982年

日本ポニーベースボール協会
理事長 広澤 克実
設立 1975年

対象
U-15 軟球部門
U-12 軟球部門
U-12 軟球世界大会
女子野球 軟球部門
低学年 軟球部門

対象
U-23
～
硬式野球
U-10



NPO法人
北海道ベースボールクラブ
兵庫ブルーサンダース

- ・男女中学生チームの設立
- ・U-18・23世代への環境提供
- ・女子選手への環境提供

エスプランナー

- ・野球留学支援
- ・語学留学支援

一般財団法人
日本スポーツ推進機構
日本スポーツエンターテインメント

- ・選手、指導者のレベルアップのための教育サポート
- ・組織運営のデジタル化推進サポート
- ・選手の育成診断システムの導入

GATHER
SSKリレーションズ

- ・就職支援

BSO株式会社
(プライドジャパン)

- ・軟式部門の国際大会を共同開催

PONY 育成メソッド

～世界を目指す人材育成～



アジアパシフィックゾーン
トーナメント



ワールドシリーズ

小学生期						中学生期						高校生期						大学・社会人期				
------	--	--	--	--	--	------	--	--	--	--	--	------	--	--	--	--	--	---------	--	--	--	--

3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

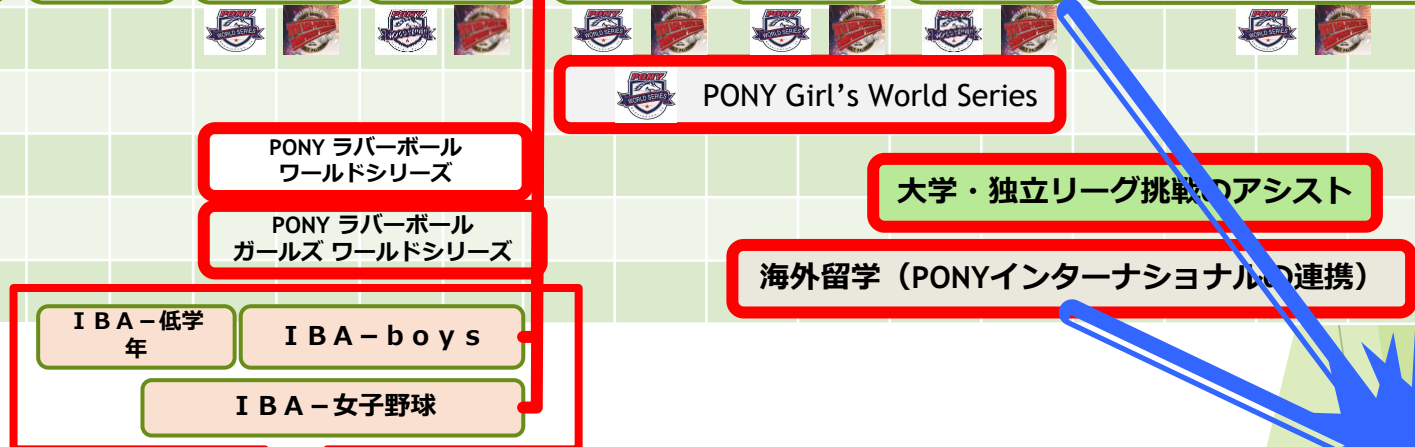
集立ち

硬式部門



- NPB
- MLB
- 社会人野球
- 国内独立リーグ
- 米独立リーグ

軟球部門



関連事業

PONYオリジナルメニューの充実化



海外遠征の提供

一般企業への
直接的就職支援

PONYリーガー（の成長）を守るサポート（業務提携）体制

就職支援

- ・株式会社GATHER
- ・SSKリレーションズ

U-23 ポニーリーガー支援

- ・NPO法人北海道ベースボールクラブ
（札幌ホーネッツ）
- ・兵庫ダイヤモンドポニー

給付支援（サプライ用品給付）

- ・株式会社大倉

PONYブランド広報支援

- ・日刊スポーツ
- ・スポーツニッポン
- ・ベースボールクリニック
- ・Creative 2



怪我予防支援

- ・古島弘三医師
- ・スポーツメディカルコンプライアンス協会
- ・日本スポーツ推進機構
- ・日本スポーツエンターテインメント協会

指導者教育支援

- ・日本スポーツ推進機構

留学（野球・語学）支援

- ・株式会社エスプランナー
- ・レドントベースボールアカデミー

海外遠征支援

- ・パンタスポーツ有限公司
- ・株式会社日本旅行
- ・BSO株式会社



株式会社大倉 [ポニーリーガーを支えてくださっているスポンサーの皆さま](#)



公益財団法人 京葉鈴木記念財団



富士製煉株式会社



アメアスポーツ ジャパン株式会社



当協会に於いては、PCR抗体検査、「HESTA AI セキュリティーゲート」の導入により本年度予定していた4回の全国大会の内、2大会は開催することが出来ました。

然しながら、当該2大会は9月度に集中開催したため、当時コロナウィルス感染症が蔓延し、地方自治体の指導により参加することが出来なかった、九州・沖縄地域の当協会登録選手のため

「二度と戻らない中学生期の大切な経験 ・ 思い出作り」に賛同頂いた福岡ソフトバンクホークス様の多大なご支援とご協力のもと

12月19日・20日の両日「大倉グループプレゼンツ 第10回全日本コルトリーグ中学硬式野球大会」をPayPayドーム ・ タマホームスタジアム筑後にて開催することと致しました。

参加チームは、全日本選手権大会に出場する予定でありました、沖縄連盟所属の3チーム九州連盟所属の3チーム、全日本選手権大会地方予選にて成績優秀であった関西・関東連盟所属の各1チーム合計8チームが参加致します。

Protect Our Nation's Youth
(国の宝である青少年の成長を守る)

過日開催されました当協会理事会により

1. より一層、怪我の予防に積極的に取り組むため、古島弘三氏を常務理事に昇格させチーフメディカルオフィサー（Chief Medical Officer、最高医学責任者）に任命致しました。

当協会では、磐石の態勢で「無限の可能性を持つ子供達の能力を最大限引き出す」ための、「怪我は予防できるもの」であるとの取り組みを強化・実践すべく、グローバルな医療分野の専門知識と経験を併せ持つ、古島氏を当該職位に任命致しました。

今後、ポニーフェスタ等により収集するデータと、古島氏が持つデータ・経験を分析・議論し、当協会登録選手の「青少年の成長を守る」「野球に夢中になれる期間の創出」のため、具体的な怪我の予防策の実践を果たして参ります。

2. 「留学支援」「就職支援」の導入を含め、社会に巣立つまで成長を守り続けることを成し遂げるため、選手のセカンドキャリア対策に高い見識を持つ、前 四国アイランドリーグplus理事長 坂口裕昭氏を理事に任命し当該世代を担当させることと致しました。

Protect Our Nation's Youth
(国の宝である青少年の成長を守る)

THE UNIQUE HR DEVELOPMENT METHOD OF PONY

PONY独自の人材育成メソッド



ポニーリーガーを支えてくださっているスポンサーの皆さま



パートナーズの皆さま



SUPER PONY ACTION PART 2

~第2弾~

資料

社会に有益な人材を輩出

アジア大会・ワールドシリーズで新たな部門をスタート ⇒ 全ての人に国際舞台を提供

いざ、国際舞台へ
(国際大会の新設部門)

高校生 パロミノの部 (U-18)

高校生の年代から海外留学、また高校に進学するものの野球を続けられず完全燃焼することができなかった選手たちに国際舞台を提供。ポニーが主催するU-18の国内大会・国際大会を新設！

大学生 サラブレッドの部 (U-23)

ポニーが主催するU-23の国内大会・国際大会を新設。国際舞台の経験が学生の就職活動の一助となることも期待値としてある。

女子(硬式)の部

ポニーが主催するU-18の国際大会を新設。アジア地域の野球振興となることも期待。

軟球の部 (U-12男子・U-15女子)

ポニーが主催する軟球の国際大会を新設。アジア地域の野球振興となることも期待。



世界が君を待っている

国際大会では、MLBのスカウト、米大学のスカウト陣が集結。自身のポテンシャルを最大限に発揮するとともに、国際交流により国際感覚も養い、人生の充実化を図る！



一般社団法人少年軟式野球国際交流協会

(International Boys Nankyu Baseball Association Inc)

設立 : 1982年3月
文部省(現文部科学省)より社団法人の認可を受ける

理事長 : 古葉竹識

住所 : 〒134-0091東京都江戸川区船堀1-7-6KSGビル6F
電話番号 : 03-5679-0053

法人概要 : 一般社団法人少年軟式野球国際交流協会
(IBA-boys)は少年軟式野球を通じて軟式野球の普及・進行を図るとともに、海外における親善大会・国際大会に少年少女選手団を派遣して国際交流を行い、青少年の健全育成に寄与することを目的とした社団法人

特徴 : ① 国際標準球である低反発球を使用
② 世界大会や国際親善試合を開催
③ 低学年・高学年・女子・中学生の4部門を展開
④ 登録チームを持たないエントリー性の採用





IBA – boysの理念

法人の目的と基本理念

【法人の目的と事業】

海外の少年野球組織との交流を行うとともに、国内における少年野球の普及振興を図り、もって国際親善並びに少年の体力向上及び人格の陶冶に寄与することを目的とします。

【事業】

- (1) 海外の少年野球組織との親善交流試合の実施
- (2) 国内における少年軟式野球大会の開催
- (3) 野球教室・講演会等による少年軟式野球の技術向上と普及
- (4) 少年軟式野球指導者の育成、審判員の育成
- (5) この法人の目的を達成するために必要な事業

【基本理念】

少年野球を通じて諸外国の野球チームと友好交流を行い、少年たちの視野の拡大と国際感覚を磨き、心身の健全なる発展に寄与することを基本理念としています。

少しの「勇気」を出して、海外遠征に参加して頂き、海外で素晴らしい「感動」を味わい、国際交流で様々な体験を通じて少年達の「自立」の心を磨きます。



海外派遣への道のり

IBA-boysは国内大会（全国大会・春季大会・秋季大会）を主催し、優秀な成績を収めたチーム・選手は、日本代表選手として海外へ派遣される権利が得られます。海外に遠征した選手（小学生、中学生）は、遠征地でホームステイ（中国・C台北を除く）を体験しながら、初めてお会いするホストファミリーとコミュニケーションをはかり、その国の文化に接しながら海外生活を体験することにより、国際感覚を養います。

国際感覚の育成

日本は島国であり、EU諸国のように他国と地続きでもなく、アメリカのような多民族国家でもありません。そのため日本人は他国文化と接し、学習する機会が少ないのも事実です。IBA-boysは小中学生が野球を通じて海外の人々、文化と接する機会を与えることにより、小・中学生の国際感覚を育成していきます。



I B A の 歴 史

<歴史>

- 1982年 : 文部省（現文部科学省）の社団法人として認可を受ける 初代理事長 佐川清
- 1983年 : 第1回世界大会開催 アメリカ、チャイニーズタイペイ、フィリピン、ジャパンが参加
佐川急便立川球場にて開催 優勝：チャイニーズタイペイ
- 1984年 : アメリカ（セントルイス、ロスアンゼルス、サンタモニカ）カナダ（バンクーバー）遠征始まる
: 世界アマチュア野球連盟（IBAF）を訪れ、世界少軟式野球連盟（WBF）の認可、世界
大会承認を取り、併せて世界スポーツ連盟の認可を取得する
- 1987年 : ヨーロッパ遠征（オランダ・ベルギー）始まる
- 1988年 : 南米アルゼンチン遠征始まる
- 1989年 : オーストラリア遠征始まる
- 1990年 : 「古葉竹識」氏 理事長に就任
- 1991年 : 第9回世界大会 江戸川球場にて以後開催 24チーム参加 （優勝:チャイナ）
- 1992年 : 第10回世界大会開催 優勝:チャイニーズタイペイ 秋篠宮殿下、紀子妃殿下ご来臨
- 1997年 : 古葉少年野球教室 「北京」教室開校
- 1999年 : 全国に「古葉少野球教室」 始まる オーストラリア・シドニー遠征始まる
- 2000年 : シンガポール遠征始まる
- 2004年 : EBCA（ヨーロッパ）遠征始まる
- 2011年 : 宮城県に於いて がんばれ宮城大会を開催 C.タイペイより激励のメッセージ
- 2012年 : オーストラリア・メルボルン遠征
: 中国 広州遠征パンパシフィック大会、中国（南京、無錫等）
- 2015年 : C.タイペイ遠征・諸羅山盃大会出場
- 2017年 : 第35回世界大会開催（江戸川区球場）
- 2018年 : 第36回世界大会開催（江戸川区球場）
第1回NTAグアムカップ開催（初のグアム遠征）
- 2019年 : 第37回世界大会開催
初の三郷市開催（セナリオハウスフィールド三郷、三郷市半田公園野球場）



IBA登録支部

小学部

東京都	支部名
	江戸川支部
	町田支部
	東西支部
	武蔵野支部
千葉県	支部名
	安房支部
	船橋支部
茨城県	支部名
	茨城支部

埼玉県	支部名
	鷲宮支部
	三郷支部
その他地域	支部名
北海道	北海道支部
宮城県	宮城支部
岩手県	岩手支部
新潟県	新潟支部
山梨県	山梨支部
京都府	京都支部
大阪府	大阪支部
沖縄県	沖縄支部

中学部

地域名	支部名
北海道	北海道支部
福島県	福島支部
宮城県	宮城支部
岩手県	岩手支部
新潟県	新潟支部
千葉県	千葉支部
東京都	東京東支部
	東京西支部
神奈川県	神奈川支部
京都府	京都支部
大阪府	大阪支部